

おのり物産力旺盛に支那
 攻め海外の軍に男子に由留
 平在るは、戦況日軍大勝利
 攻め海外の軍に男子に由留
 攻め海外の軍に男子に由留

二仲者時、戦況日軍大勝利
 攻め海外の軍に男子に由留

急ぎ生立大日、由

分上程

花屋小舟

高國 六月六日
 六月七日

降云

石当り、上甲切色白七納、同立曲五寸五分、横曲、貳尺、壹寸、下、加曲、尺壹寸三分、明々



上、甲曲四分、細方也、朱字、篆書、朱印
 前題三々將二調印、此印也

朱印

嗚呼、新橋、少、由、舞、年、三、部、大
 坪、内、中、降、云、也



異、海、女、聖、交、舞、國、出、軍、年、任
 候、付、日、布、力、大、綱、之、處、中、軍、令
 角、古、把、劍、刀、代、價、銀、り、又、四
 口、下、り、海、國、押、付、者、故、一
 州、之、指、傳、其、難、之、故、女、兵、以、用
 中、之、少、許、可、也、本、軍、無、意、運
 運、送、之、以、送、付、在、本、軍、之、意

神、出、衆、一、十、万、兵、之、由、(否、也、否、也)

嗚呼、外、美、濃、王、時、年、布
 坪、市、町、新、橋、少、由、舞、年、三、部、大

由、才、十、坪、内、中、降、云、也



高國 六月六日
 六月七日

片、秋、字、八、個、字、其、外、皆、送、在、本、軍、之、意
 別、田、名、海、國、建、之、少、由、舞、年、三、部、大
 去、能、作、此、處、之、中、也、被、一、此、分、矣



表

裏


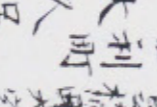
同

表

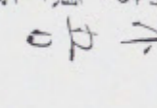
上は其標中を、
 三仲吳は、少少虫、後此
 二百分程、時氣、酷暑、候、月
 少、物、以、往、於、少、刻、又、母、火
 へ、心、配、多、清、火、了、了、候、也、
 右、文、言、端、書、ノ、頭、右、方、へ、ナ、七、横、ニ、致、シ、認、入、在、之、候

略年、新、野、田、密、野、野、部
 上、分、網、村、方、字、柳、井、北
 坪、内、言、圖、
 高、之、柳、
 坪、内、降、三、配

抄、後、此、地、能、之、者、其、中、乃、今、後、八、時、
 十、方、乃、蛇、虫、發、信、在、是、藝、洲、廣、島、
 志、出、張、付、男、女、標、以、取、寄、在、其、所、以、
 口、之、似、似、以、標、為、中、下、之、地、也、
 備、之、浦、先、之、標、等、別、以、少、以、其、由、付、
 与、力、其、口、不、合、用、之、故、未、能、書、其、事、也、
 却、可、付、也、至、應、生、者、欲、其、初、之、定、不、能、書、
 少、類、之、在、是、以、空、中、也、
 八月廿二日、本、六、月、廿、二、日、也、
 二、仲、定、年、校、少、年、名、少、何、等、之、名、又、而、慮、
 与、其、四、分、礼、定、又、以、修、之、句、四、行、上、海、島、也、
 謹、言

岐、年、孫、美、濃、國、厚、子、具、郡、
 上、加、納、村、字、柳、井、北
 坪、内、首、四、 柳、井、北、
 豊、橋、 字、札、木
 田、利、町
 大、久、保、基

大、奥、在、免、降、奇、於、六、日、清、
 勢、況、日、分、子、列、之、來、也、皆、八、聯、隊、
 王、命、之、出、帥、命、令、乃、之、故、母、内、
 鮮、三、日、後、美、昨、亦、四、日、年、後、八、時、
 十、分、臨、時、之、氣、申、之、三、箇、箇、也、
 此、軍、致、力、之、先、發、矣、矣、感、如、何、
 又、親、小、操、子、波、亦、于、該、地、也、
 我、超、中、速、也、此、其、甚、好、也、
 上、我、甚、恐、恐、人、身、上、每、控、
 之、在、依、札、之、我、字、之、分、保、護、
 任、此、之、事、一、因、難、易、人、
 心、未、我、之、由、我、後、我、我、
 寫、其、其、形、何、等、之、在、我、中、
 上、我、先、不、能、書、也、由、吾、乃、

月、木、立、日
 稿、 八月廿五日、白、明、地、
 右、文、言、端、書、ノ、頭、右、方、へ、ナ、七、横、ニ、致、シ、認、入、在、之、候

岐、年、縣、厚、見、郡、上、加、納、村

昭和十四年八月廿九日
高松市役所
第二係長 佐藤 健一
表二

表二
一

政 界 縣 志 氏 名
高松市 志 氏 名
大 高 縣 志 氏 名
高松市 志 氏 名
大 高 縣 志 氏 名

表二
一

坪内 定年 殿
朝 朝
内 内
文 文
山 山
津 津
港 港
三 三
郎 郎
三 三
郎 郎

表一
一

高松市 志 氏 名
大 高 縣 志 氏 名
高松市 志 氏 名
大 高 縣 志 氏 名

表一
一

高松市 志 氏 名
大 高 縣 志 氏 名
高松市 志 氏 名
大 高 縣 志 氏 名

平定公... 中上... 卷...

一 新八月二十三日朝鮮國坪内鎮三郎ヨリ出狀新地用八日... 後十時... 坪内定年方江着狀

大日本帝國... 坪内新地... 坪内定年方江着狀

坪内親展... 坪内定年方江着狀

朝鮮國平安通平壤府... 坪内定年方江着狀

坪内定年方江着狀... 坪内定年方江着狀

一 玉... 坪内定年方江着狀

坪内定年方江着狀

在... 坪内定年方江着狀

一 不... 坪内定年方江着狀

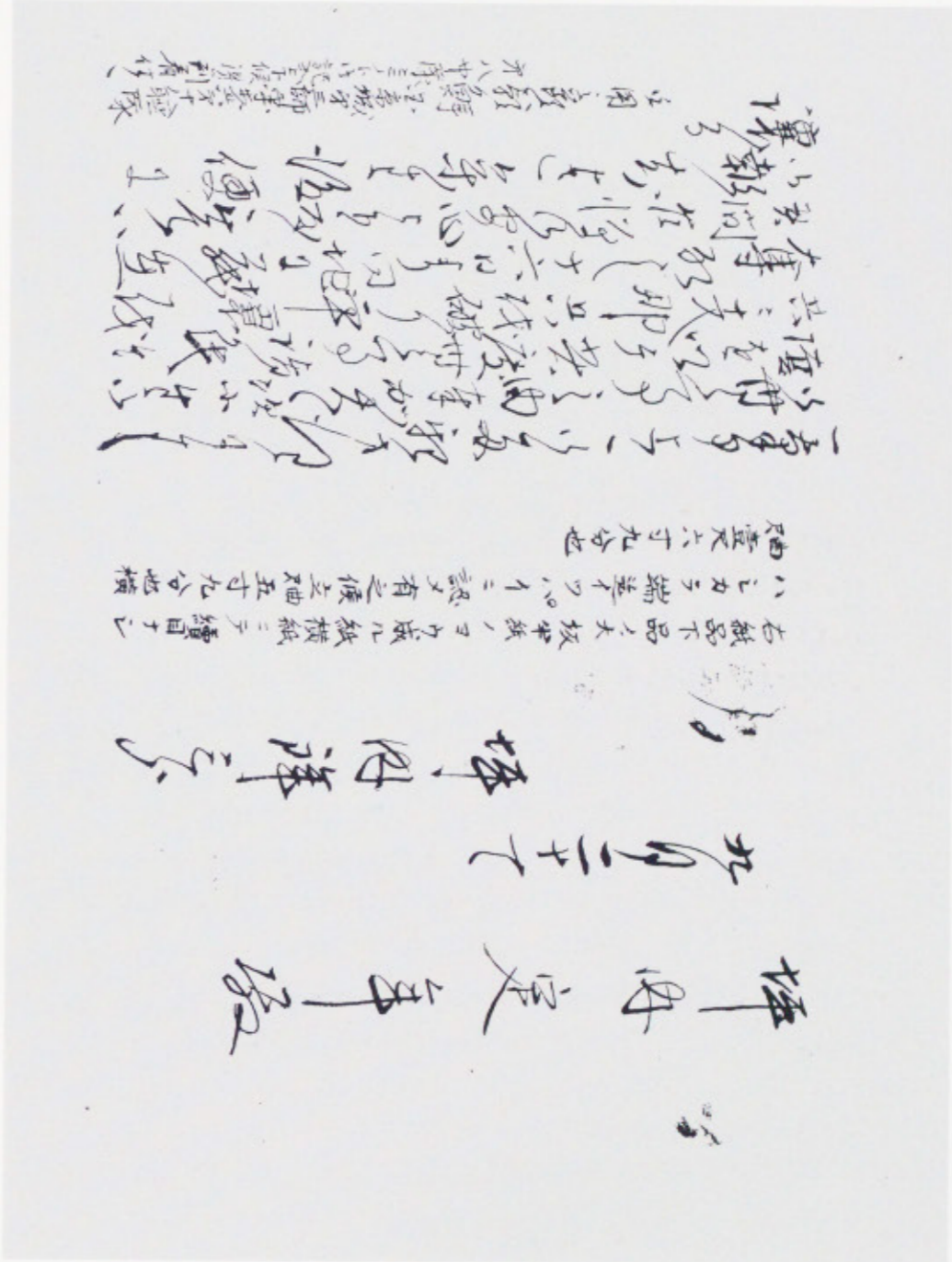
大... 坪内定年方江着狀

坪内定年方江着狀... 坪内定年方江着狀

朝鮮國... 坪内定年方江着狀

坪内定年方江着狀... 坪内定年方江着狀

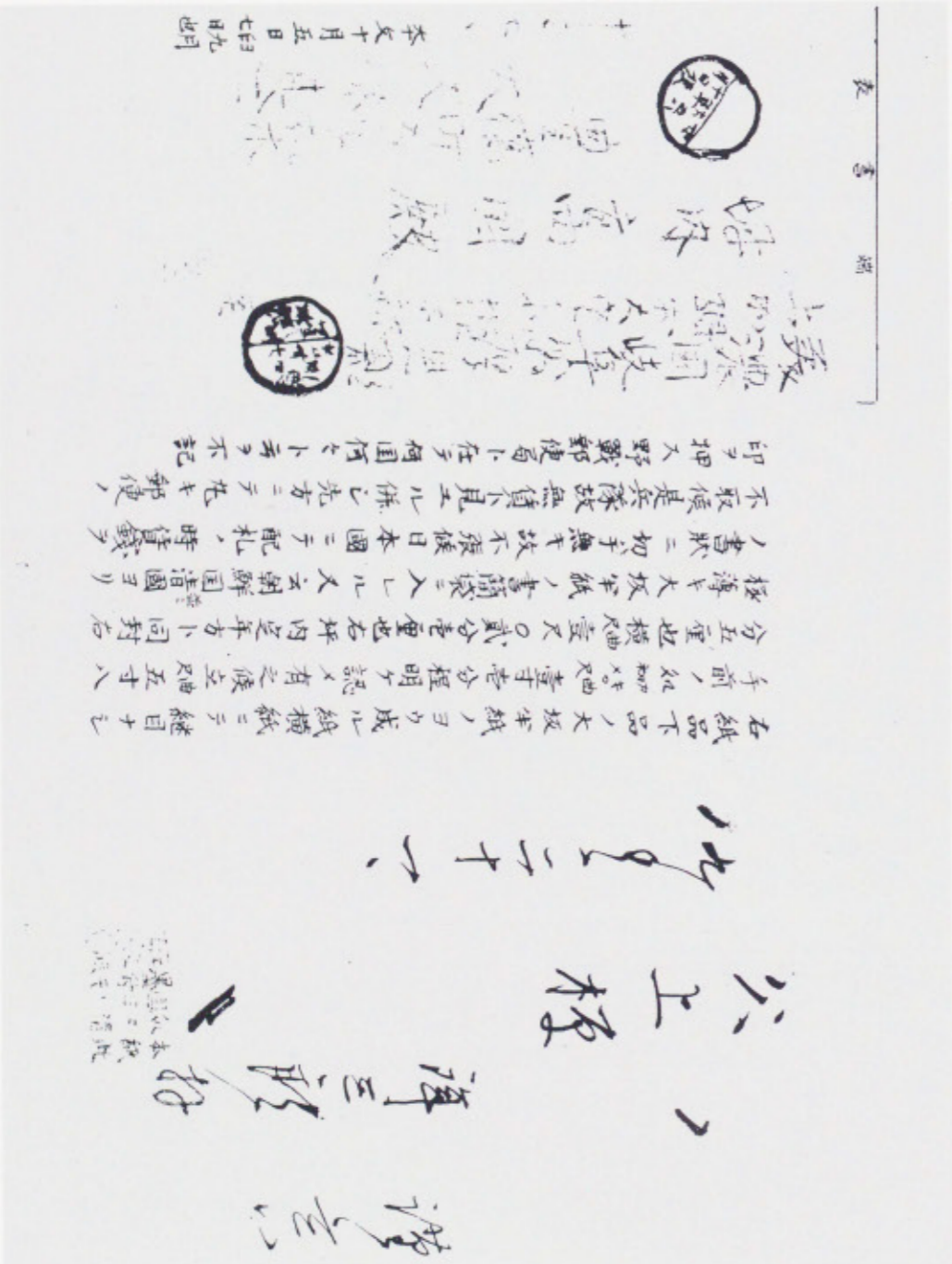
二 伊... 坪内定年方江着狀



右紙品下品ノ大坂半紙ノヨリ成ル紙横紙ニテ續目ナシ
ハニカニ端差ナクハハニ認メ有之候立砲五寸九分也横
砲壹尺六寸九分也

一高下上ノ字致有
之曲有ハズハ
之曲有ハズハ
之曲有ハズハ
之曲有ハズハ
之曲有ハズハ
之曲有ハズハ
之曲有ハズハ
之曲有ハズハ
之曲有ハズハ
之曲有ハズハ

(左側)



右紙品下品ノ大坂半紙ノヨリ成ル紙横紙ニテ續目ナシ
手前ノ紙細時尺書寺老分程明ケ認メ有之候立砲五寸八
分五厘也横砲壹尺ノ貳分壹厘也右坪内定年方ト同封右
極薄キ大坂半紙ノ書筒袋ニ入ルハ又云朝鮮国清國ヨリ
ノ書狀ニ切テ幾キ故不殘候日本國ニテ配札ノ時貸紙ヲ
不取候是兵隊故無傳不見五ル併シ先方ニテ尺キ郵便ノ
印ヲ押大野戰郵便局ト在テ何国何々トテキ不記

三好宗
穴上標
海三好

命也覚東朝一と聞きと近所知介也
けりとは者一時不差到底共交
其為又之者日于亦平直後
之得句と申為侍止西今前
金快中平海心控私方子為置
為文略野免被降其在付可
十月十五日

豊橋町大字札木
大久保基

坪内高圓様

岐阜縣美濃國厚見郡
上加納村字北檀本林

礎丸を以て中上札本日午二
大數辨毛拘六針三財放身寸
也才、若所止未困之能故志在
川旨乃ヨリ女取教丸物中上札
明細ノ事公便上表ノ様ニ付再
安室ニ于意ニ志無事八聯示
御書

御書

御書

けれども一薬針可考と見え一とて医二子
士新子仔三部氏ノ療治たまがさか
一同心は樹(也)也も未半分全快せし
丸(命)子別條可とされとも同
○下、印、此家ニハ

岐阜縣美濃國厚見郡上加納村
字北檀本林



豊橋町利
大久保基

十月廿四日 本國 十月廿四日 附九 附六 明也

神命の如く冷氣相續其廻御同様御書也
由大慶空極之我年仔其叔根丸と申
様の御遺心依り追々快氣ニ趣き皆安心致
也一處昨日又々發熱致今月少之減熱致
先只今の憂之付追々快方には馬望負
湯赤の氣管眩ハ云々十少出心込
譯中ハ毎日南極心ハ少少
幽遊孺子促事致停其物又
字西所様和寄之羅之と申之

岐阜縣美濃國厚見郡 豊橋
上加納村字北檀本林 大久保

表 キ ガ ハ

山早縣美濃玉厚見郡加担村字北殿庄林

坪内高國 孫 豊橋札

至急報用 大久保基

十一月十六日 出 本紙十一月廿四日 出 明母

表

十一月廿五日 陸橋十一月廿四日 出 明母

公父甲早被降身は過六月有重才文句付優
 行、趣は名孫御橋帶、由大慶至極、葬存其
 相御尋の辨之郎権御文通、去月曾世の聖、新
 尚、然有昔日長に、帝崇進、序、因、多、以、信、未、多、着、有、幹
 可之、此、方、之、心、心、願、以、一、種、を、信、心、内、廣、安
 次、有、一、事、初、之、故、弓、着、輪、次、身、至、急、帶、親、智、可、何、以、致
 得、其、同、三、五、環、身、故、在、月、中、考、吹、着、輪、の、只、因、之、御、意、善、降、降
 可、ん、と、お、心、壯、立、り、知、れ、し、む、さ、ご、時、廣、着、識、方、之、也
 可、儀、亦、之、湖、女、方、之、途、才、之、此、丈、故、御
 世、行、延、引、被、壞、申、諒、察、申、仁、允、可、御、降、降
 余、儀、俣、子、沙、(、年、) (、)

大日本帝國岐阜縣美濃玉厚見郡岐阜市上竹町

新田 親展

至急報用 大久保基

十一月十六日 出 本紙十一月廿四日 出 明母

表

十一月廿五日 陸橋十一月廿四日 出 明母

公父甲早被降身は過六月有重才文句付優
 行、趣は名孫御橋帶、由大慶至極、葬存其
 相御尋の辨之郎権御文通、去月曾世の聖、新
 尚、然有昔日長に、帝崇進、序、因、多、以、信、未、多、着、有、幹
 可之、此、方、之、心、心、願、以、一、種、を、信、心、内、廣、安
 次、有、一、事、初、之、故、弓、着、輪、次、身、至、急、帶、親、智、可、何、以、致
 得、其、同、三、五、環、身、故、在、月、中、考、吹、着、輪、の、只、因、之、御、意、善、降、降
 可、ん、と、お、心、壯、立、り、知、れ、し、む、さ、ご、時、廣、着、識、方、之、也
 可、儀、亦、之、湖、女、方、之、途、才、之、此、丈、故、御
 世、行、延、引、被、壞、申、諒、察、申、仁、允、可、御、降、降
 余、儀、俣、子、沙、(、年、) (、)

二仲時氣寒さ都に御意に如き如き御禮儀候下を奉祈し宜き候
 之奉に心せし上は侍に申渡り候事申上
 六七去月之掛長三郎御座り候事申上候事候事
 候事申上候事申上候事申上候事申上候事申上
 御座り候事申上候事申上候事申上候事申上

一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内
 一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内
 一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内
 一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内

一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内
 一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内
 一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内
 一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内

在清
 生兵第十八聯隊
 坪内高平
 坪内鋒三郎
 十二月十八日

和字の語

謹而奉賀新年
 併し御両親之
 祈萬福
 謹白

大日本帝國軍台領地於清國盛京省孤島港
 步兵第十八聯隊第九中隊
 陸軍歩兵第百七十七師團長坪内鋒三郎
 明治八年二月一日

右唐紙半切のう機紙ニ貼立紙七寸四分七厘ニ
 延齡標燧臺尺の廣分七厘也末裁寸三分四分
 一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内
 一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内
 一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内
 一紙十一月廿八日清國大坂山港内郵便三郎ヨリ出年徳内

英譯亦廿二日...
一、此...
二、此...
三、此...

一、石少七雲藍色，薄，不品，楮紙立軸六寸燒封也，如三楮紙六寸許分六重，和珠明之右始，又紙書損分本紙，俾寫

謹而奉加賀新年

併之高堂之

祈萬福

清國於大孤山港

明治廿八年一月一日 坪内鋒三郎

謹言

右紙品唐紙本加...
五寸或餘在...
寸...

朱々々之

國方（同封竹紙）...
袋三ノ内同紙ノ...
年十一月十五日...

大日本帝國...
二加加村字北極本縣...
坪内

織...
山港...
坪内...
清...
玉...

一事...
然者...
快雲...
教...
山...
去...
向...
攻...

右紙呂竹紙ニ似タル薄キ白ノ大坂半紙ノ藍色ノ十武行
 景紙全紙壹枚ニ書ク真中ノ明キタル研ハ景紙ノ折目ノ
 可也景紙ワクノ内立端六寸四分也上段ワク一バノ書
 久又父ノ名ノ処ワクノ外也又ワクノ外四行ニ細ク天選
 書上ノ紙本紙ト同ク下ノ紙ハ本紙ヨリ細四分敷僅下リ
 紙ノワバノ也始ノ紙ワクノ外曲ト紙ヲ裁テ冷ハ厚明ク木
 ノ紙一バノ也古竹紙ニ似タル至薄ク心ヨキ白色

御定事指ノ旨取御便宜取不度候事其旨取候事ハ御定事トシテ
 何事トモ申上ル事奉候事御便宜取候事ハ御定事トシテ
 是所ノ旨取候事ハ御便宜取候事トシテ御定事トシテ

又丁ノ得ルニ付ハ紙信三百余アリ又至十日鳳凰殿御書
 守備御書ニテ敵兵敗退セリ為今六月十日二十三日十日
 同前御書ニテ敵兵敗退セリ為今六月十日二十三日十日
 自京軍漸次侵入為近頃迄死傷故所成り
 不申候事東軍旗幟口占領后安衛地占領シ奉農兵所
 幕官取進候事東軍三隊進協力向陰陽及宮口入
 全方大敵之攻勢不重動中ノ后七日三六勝報
 ヲ得ルナリ本日本日今尙微雨大時平頃厚ト充テ主頼ノ銀寺湯
 大孤山渡ノ風雲往ノ近頃熊爪ノ領入夫十七日奈吉地
 陸上敵進比所寒氣ノ為粉茶ノ起テ需糧ノ為ノ留見
 手足凍傷ノ見ル氣毒ノ人ニ至リ又取リ送軍セシ
 卜至に今ノ夫一人之軍人女ノ是防定初取ノ外三食同
 到テ依生ノ邊ノ事以候事其旨取候事ハ御便宜取候事トシテ
 夫ノ和向ニ後使ニ決不候
 謹白
 銘 三郎

公上様
 明治三年三月廿六日

（巻）

紙二枚重キノ袋内ノ紙淨紙ニ似タル半紙ニテ黄赤色
 也此ノ紙ノ書簡袋ニ入ル此紙六寸四分三厘又云送金ニ
 板金取田也銀行ノ機札取紙大黒ノ圓ノ封入也
 一紙十一月廿八日夕暮書出狀上書在朝鮮國家城等三師
 團兵隊第九中隊會長坪内鉦三郎殿ノ書又清
 國總領事官九龍總領事官渡邊殿ニテ右石同様
 一紙十二月六日午後清國坪内鉦三郎方江年始狀父
 高國ヨリ出狀
 一紙八月廿九年正月四日清國坪内鉦三郎方へ高國ヨリ
 出狀右ハ紙八月廿九年十一月廿三日出十一月廿六日右
 西度清國坪内ヨリ出狀ノ返書ト又仕掛ケ手紙同封出狀
 圖下詳ノ如左
 一紙正月九日 清國ヨリ出狀 三月五日 午前六時 郵費
 着狀

大日本帝國 岐阜縣 守見郡
 上加納村 檜森
 坪内高國 殿
 机下

又
 守見郡 檜森村 坪内高國 殿
 三月三日

大風吹降、是附近、北一万餘、大
 子、散、明、之、破、り、多、敷、大
 日、道、登、陽、道、取、山、站、立
 敵、又、破、道、車、七、牛、壯、
 向、此、取、十、家、師、車、之、取、得、下
 丸、ヤ、平、壤、以、毒、激、戦、然、敵、
 敵、手、退、し、り、一、我、軍、死、傷、二、而、余、名、敵、
 者、千、余、名、捕、護、六、七、百、名、り、三、月、四、日、
 戰、利、留、無、數、日、若、銀、家、屋、一
 泊、翌、日、午、夜、一、吹、出、勢、管、口、向、
 口、已、方、二、軍、之、占、領、之、り、依、道、
 田、庄、口、取、り、地、敵、千、九、日、攻、
 抗、り、敵、之、最、目、敗、北、山、海、附、近、
 至、り、依、一、部、管、口、駐、置、キ
 高、川、附、近、退、キ、中、り、四、月
 下旬、至、北、氷、解、ス、北、京、城、乘、
 三、海、關、至、り、管、口、北、京、城、乘、
 之、方、畧、ナ、り、方、下、管、口、限、知、
 適、如、上、御、座、候、御、知、
 三、月、二、十、日
 鐘、謹、
 三、郎

右裁品日向半切ニ似タル上品、紙始メ之処巻寸八分
 程明ク物如ク如ク如クニ程キ在リ寸、未イツ、上ノ処巻寸
 五厘ヨリ三分余明ク下ノ知イツ、バ、立廻五寸四分五厘
 横廻尺貳寸八分五厘程キ知イツ、之書翰袋體橋成ノ景紙
 一枚重キ也、立廻五寸七分申、貳寸壹分五厘也、又本紙ニ
 来ノ字之處、薄墨又那ヨリ付キ、来ニ其儘寫、
 一、辨、日、三月三十日、午後八時、過、未ノ上、利、過、頂、
 三、郎、之、出、代、右、邊、意、圖、等、以、邊、天、坪、内、定、年、方、邊、り、之、同、封、

父上様
 三月二十日
 三郎
 仲新、分、村、小、林、寺、御、僧、ヨリ、御、慰、問、
 不、承、狀、賜、ハ、リ、多、ク、御、礼、申、上、道、候、御、
 不、承、母、様、宜、敷、御、傳、被、下、度、候、

一 新三月十五日丑時九つ半邊項牛中刺邊項環高國ヲ
 一 新四月九日午時一時半頃出狀前日八日定年方又通定年
 ヲリ事毛同封入

一 新九月頃ノ風聞ニ謂以國金毘羅大權現江奈語ノ人ノ
 新ニテ名御同祈之御神馬ノ尾ト足ト三箇所ニ鉄炮
 宛有之條由江津司馬ノ尾負輪由又風說ニ平壤朝ノ令
 戰ノ時敵山上ヨリ炮發シテ味方難戰之時知レザル兵武
 拾人討リ出テ赤リ山へ登リ敵才退治致セシ由又此合戰
 之時福島中佐討死セシ小馬ヲ乗出サントスル時は毛知
 レサル兵壹人未リテ今討死又少時ニテラズト申留メタ
 ハ由也

又風說ニ日本軍難戰ト見ユル時赤兵械ノ出來リテ暴亮
 ニ進メ敵兵才破リ其強勇ノ事難戰ニ討倒メシトスレ
 比例レズト云々敵兵討リ見ヘテ日本兵ニハ見ヘズ又
 赤兵小關ノ聲ヲ揚ルヲ甚々恐ル、由又赤兵モ日本兵
 毛敵ノ目ニハ多人數ニ見ユル由右ハ生捕ノ清國人ヨリ
 申シ、由也又當此八未年都三明頃、又通ノ由ニテ尾別
 名古屋ノ町人稻葉梅吉社ニ又愛知鎮臺ノ兵卒ニテ敵頭
 三城リ也右ノ方ヨリ申越入ニハ赤隊ヲリテ剛勇ニシテ
 賊カレ由也邊高國按ケルニ天狗神ヲ拾荷神通力ニテ在
 ニカ右ニ神格別ニ御盡力ノ由風聞爲テ赤兵ハ此ニ神ノ
 御助カテラシク又昨冬新十一月頃ノ風說ニ天神サマノ
 菅原道真公御蓋力ニテ其擢履ニハ世間ノ樞守ノ事
 各破レタレハ由ニ付高國氣ヲ付ケタルニ極テタ子ニ
 大指ノ仇ニテ押シタレ様ニ長細凡三分程ノ疵存キタリ
 一 新三月十五日丑時九つ半邊項牛中刺邊項環高國ヲ
 一 新四月九日午時一時半頃出狀前日八日定年方又通定年
 ヲリ事毛同封入

朱書

新三月十五日丑時九つ半邊項牛中刺邊項環高國ヲ

一 新八月二日東京ヨリ征韓ニ付毎日ニ一日ニ十度宛
 兵隊ト小荷駄馬通行五日迄其後度々通行又春新三月頃
 東京ヨリ近衛兵ハ騎兵隊馬衆、兵凡五千人程通行
 馬毛同斷其後一度通行都令壹万人程ノ由北京ビコッ
 責抑ルニハ必ス右ノ兵ヲ用ニ是世以ノ規則ノ由也

一 新八月十五日午前四時十分驛 朝廷御連行東京御出
 發昨夜尾列名古屋脚一泊櫻列大坂ニ一日御逗留ニテ藝
 列沼田郡廣島へ大元帥ニテ被爲入使御本營ヲ被爲移候
 一 新九月十五日朝鮮國平安道平壤ニテ生捕三百人討リ
 名古屋鎮臺ト豊橋衛城トハ敵陣ニテ蒸氣車ニテ通行也
 千ヤン々坊ト異名ノ入船其後春ニ至テ而度程三度程
 一 六鎮臺詳圖東京眞節大坂五師團藝列廣島六師團藝列熊本
 之步兵追々播出し後ニ預備兵後備兵共々セテ折々提出
 又凡拾貳万人程ノ風聞海軍モ人員同新新聞ニ倭國ノ人
 數不記倭人員認メ候奉本相成由也

一 新十一月十九日昏前十時頃 皇太子御通行出火御候
 一 先日廣島へ御出今日蒸氣車ニテ御歸還先新月
 一 新九月下旬頃清國ヨリ使者來ル風說不達送不入
 其後丹度使節來朝新五月八日願新月
 一 新三月十八日午前四時邊項

一 新三月十八日午前四時邊項 皇太子御

同道昨夜尾引愛知郡名古屋御旅館皇太子陛下東掛町

一 新三月十三日新五ノ年時湯島。漸發知 請和使節馬關

ニ着ニ北時馬關發 清國副和使節李鴻章心時 新地ニ着

ハレオスス、ゾアトリング、ハンチンク、ハシクケン、科外

リ之処 鞋店ヨリ出テ與ノ前へ廻リビストルニテ行候

春帆樓ニテ談判始リ同四時ニ相濟李鴻章引揚寺江引取

ヨリ談判始リ此節李鴻章不快中同 地八時午後二時ヨリ

上野國邑樂郡大島村大字北大島四十二番地平民ニシテ

本月十三日東京ヲ發シ陸路慶島ニ着シ在四日ノ朝長府

山口縣長門國豐浦郡ヨリ馬關ニ来リ發臺樓ヨリ發券ヲ

得テ滯留セシ者ノ由ニテ馬關ニハ本々其ノ宿所ナシ曾

テ自由主資ヲ執リ前科アル者ナリ兎行ノ原因ハ一極ノ

妄想ニ外ナラズ一説ニハ癡狂人ナラント云ヘリ云ヒテ

其セルトハ横濱ノ銃炮店金志謙次郎ガニテ買來メ

ルモノトノ事ニテ長サ五六寸ノ六連發ナリノ兎行者ノ

恠ハ六之助ト申立シガ群馬縣警部長ノ回答ニ本名豊永

郎トアリ喜八郎ノ長男ニテ久敷東京ニ在リノ教使 清

國請和使節李鴻章皇儲慶島ノ為メ 天皇 謁陛下ヨリ致

使トシテ差遣サレタル中村侍從武官ハ字品浩ヨリ赤國

軍艦八重山ニ乘込ニテ昨日五且宮登馬關ニ着レ只今

在 五且使節相見舞ハレタリ。皇后陛下ヨリハ特ニ使節

看護婦ニ名ヲ差遣サレ且御製ノ繡帶ヲ 下賜セラレ

タリ。使節使節ノ容辭大ニ宣ヒテ豫後長好ナリ。李鴻

章銃丸ヲ見ル 李鴻章ノ傍ハ左眼ノ下五寸程ノ処ニ在

リ留レル銃丸未ダ取レテ李ハ如何ナル処ヲ用ヒシカ

見タレト望ミシカバ短銃ニ稍殘シハ九ヲ採リテ之ヲ示

シタリトイフ。平和條約ノ調印済ム 本月十七日午前

本日十七日午前十時ニ至リ清國全權ハ終ニ我國ノ要求

ヲ承諾シ媾和本條約ニ兩國全權ノ調印滞リナク相濟シ

タリ。媾和條件ノ要領 廿日午後五時 今回談判ノ結

果ニ依リ清國ヨリ我國へ得タル條件ノ概要ハ略録以北

遼河以南ノ占領地一面並ニ臺灣及ビ其ノ群島悉皆償金

貳億圓六個年賦日本帝國臣民ノ清國ニ於ケル治外法權

等ナリ也。 朝日 四月十七日午前十時伊藤伯陸奥子、

西大臣以下ノ面々媾和談判會見時ナル馬關春帆樓ニ入

リ待コト五分間ニシテ欽差全權李鴻章李經方西大臣以

下亦来リテ會々最後ノ會見アリ李鴻章等ノ春帆樓ヲ退

出セシハ正午十二時頃ニシテ午後二時其旅館引接キテ

引拂ヒ李鴻章ハ例ノ如ク轎ニノリ二十人程ニ乗マセ駛

足ニテ裏道ヨリ春帆樓前ニ出テ其レヨリ本道ニ下リ河

張陀寺河岸ニ達シテ小蒸漢船ニノリ船本船ニ乗込メ

リノ償金二億兩銀貨ヲ以テ但シ六ヶ年賦ニ説ニハ五ヶ

年賦ノ朝鮮國ノ獨立ヲ認ムル事。清國人ノ日本國風ニ

於ケル治外法權ヲ撤去スル事。日本人ハ清國內ニ於テ之

ヲ保有スル事。前記割讓地ノ外ハ假リノ保證トシテモ

清國ハ日本軍ニ土地ヲ占領セラシルハ事無カルベシニ億

兩トハ何程。今日本ガ償金トシテ受取金高ハ二億兩

也トイフ彼國ノ銀一兩ハ大凡我壹兩四十錢ニ相當スル

ガ故之ヲ我通貨ニ換算スレバ二億八千萬圓トナル。ト

地ノ割讓 盛京省ノ一部即チ遼河沿岸營口ヨリ牛莊ヲ

經テ田莊臺ヲ除ク遼陽ニ出テ連山關ヨリ鳳凰城ヲ經テ

鴨綠江岸平安節子朝鮮國義列ノ境ニ至ルマテテ境奥ト
シテ渤海黃河ノ沿岸一帯ノ地臺灣島、澎湖島及シ其ノ

附屬群島

一小山六之助豐島岸ハ朝鮮屠利候 仰有俄國時地江邊

一昨午年以來出兵之時海軍來ル加瀛軍場ニ于岷阜縣ノ

官員衆出テ手ヲ々、キ可威々々ト云亦町内親族右同様

ニ言ノ又町内ヨリ浮羅帶又ハ懺寺立テ又夜分挑燈多ク

出テ親シ細懸燈又白、大批灯モ出テ賑ハ敷出兵ノ度毎

ニ如此諸國共皆如是瀛軍場ニテ大垣其外同斷也又又度

等致テ酒肴毛在リ又某店居其外賣物出ル

一六鎮臺ノ赤兵操出シ後預備兵後備兵並々少々宛標出

シ凡拾貳百程ノ由海軍モ同斷勿論戰爭ノ時モ人數尙尙

ニ不記倭國ノ人數總ノ候事不相成由也

一岷阜日々新聞ニ依戰ノ計リ在シ候風記ニ支那ヨリニ

ク所日本ノ遣シ休戰ヲ頼ミタル由又李鴻章災難ニ逢ヒ

又ハ故談判ニ延引テ其内休戰ニ周間四月一日ヨリ同ト

云是並清國ヨリ談判中休戰又岷阜市中ヨリ祝ヲ祭禮ヲ

致度ノ願候處未父調印無之ニ付四月五日迄延引ル様

其助ヨリ御沙汰ノ由決調印ハ子亦同國軍見郡笠松ニテ

ハ稱月朔日ヨリ同七日迄ハ如賑ハ敷候由也同縣

下ニテニ區々也

一風説ニ清國ノ台領地有日本ヨリ境奥ニ棒杭才建テ置

ト夜中ニ土人先キ江持行キ立候由日本ノ御仁惠ノ御政

事ハ懇望ノ由也又三ヶ年無稅ニ被 仰出候又戰地ノ荒

可才總計シテ御手當金ヲ下賜由ナリ

一休戰ニ相成リ間モ無キニ清國人襲ヒ來リ炮發又日本

ヨリ白旗才出シ候得ハ降参ト心得嵩又押赤リ候故無是

非炮發致シテ集拂ヒ生捕共ニ尋獲處未ハ報知無之由申
ニ付日本ノ通達シテ來ル故李鴻章ノ談ヒ右同人ヨリ清

國江電信ニテ申遣テ由風聞ナリ

一坪内鉾三郎久通之内、妻子之如ハ、大久保基成並ニ宅

ノ故ニ親ニ買キ申候ト在之右大久保基八、天保八丁自年

八或坪内鉾三郎妻屋敷ノ、白里鈴木借作、女梅妙女

當年ノ出生實、姉ナリ基ハ右姉梅女、且那与テ白

吉田豐餘城主高七方石松平伊豆守殿白藩士高百五拾石

元租ハ相列小田原ノ城主高松屋高松屋方當時三河國濱義郡豊

橋町大字札木町相模住居前、ヨリ凡番丁半間町、又治

父ハ鉾三郎妻係ハ女ノ母ノ考ニテ豊橋町大字、町江

養子縁組法、ト云當年、年ノ樹生

一又大久保基ヨリノ、端書三葉而御信心被下候御地蔵様御

願ハクシ可被成下候様ト返書申越シ候右者銀文病氣之

節地蔵大菩薩江心願之趣書キタルハ坪内高國信仰之濃

利傳見郡上加柳村大字孫ハ大坪場壽ニテ東西南北

四方ニ地蔵大菩薩ヲ軒在リ此内泉ヨリ西向石像地蔵大

菩薩三輪在リ此内北ノ端ノ地蔵大菩薩靈驗ヲラタニシ

テ無比類詔申服病ニ御利益格別ノ由医師ノ不治才一周

間又者二周間三周間籠リ御百度扨敷テ進々ニ目見ハ平

愈ルハ音聲ニ其外乳カシ等ノ病人全快ルハ者任リ其外

語高ニ御利益ヲ蒙ル者甚ダ多シ説ニ尾州ノ或時江僧一

人來リ窓ヲ登リ登才實ヒ候由其後此地蔵大菩薩ノ側ニ右印

ノ有ルカゾアリ筈在之由ニ風聞ナリ

一此頃頻リニ風聞聲又那ノ李鴻章才返リ行キタルモ

ノ或哲人掛籠ト成リタルト申臺灣ノ附近ノ島貴金出ル

ニ依テ惜テ不渡又其邊ノ嶋通餘ノ咽喉ニ自英國ヨリ不

渡ヨフ申又武備、金才不流拮据在之似今日
時ニ至テ學見都令泉村岷阜市大字令小町岷阜日
新聞社練前ニ張出シ在リ左ノ通り

○清國皇帝ノ批准 (今日午後二時四十五分東京發)
七時本社着達 清國皇帝が機和條約ヲ批准セサル由ハ
數日來賴リニ風説スルハロナリレガ本日或前ニ達シタ
ル電報ニ據レバ清國皇帝ハ愈々故障ナク機和條約ニ批
准シタリトヤリタリ

○條約交換ハ李鴻章 (今日午後八時三十五分東京發)
李鴻章ハ端和條約交換ノ爲メ今明日中ニ交換指定地
ナル芝罘港ニ着スベキ筈ナリ

記者附記者ノ電報ニ據レバ數日來清帝批准ヲ拒ム
ベシト傳ヘタリハ全ク無根ノ説ニシテ滯ホリタク
批准ヲ燻マシ豫定ノ通り交換ヲ行フベシト察セシ

一 三脚團 義勇隊三列十八聯隊隊長佐藤正氏大佐ハ朝鮮
平安道平壤ノ戰鬪ニ技辭ノ高名三列才第一番トス其外
所々之戰鬪ニ高名不借國元魁 盛京省牛莊戰事 三月

叶明之時在リノ足ニ鉄炮ギル又 尾ニ同シクギルニ
依テ引退ク由医斷在ノ足ヲ切斷ス追々噴快ノ処急篤ニ
至リテ丘五位ニ被任由都合三度切斷ニテ全快

一 風説ニ分捕品ハ不相成兵器金銀其外者諸書風俗共
皆斷ヘ出入越中ニテ其際又同故 義勇隊ニ由機和條約ニ
一 斷電 各品各料ハ由 義勇隊ニ由機和條約ニ

○批准書交換の延期 (九日午前七時四十分京都發電)
清國政府ハ更に數日間の猶豫を得テ其期日中に機和條
約の批准交換實行ハきに少休戰の延期を得タキ告

北京駐劄各國公使等經テ請求シ来リたるに依リ我政府
は本日より尙小五日間を限り休戰條約の延期を承諾シ
たる由を北西國全權辦理大臣は何れも批准済の條約を
攜帶して已に芝罘に在リ各其政府より命を待テ居ル
ならん (同上昨日第一號外)

○清國延期を取消セ (九日午前一時二分東京至電)
清國皇帝陛下は和約交換延期の請求を取消し直ちに交
換すベシ旨李鴻章に勅命ありこの電報昨夜来リ

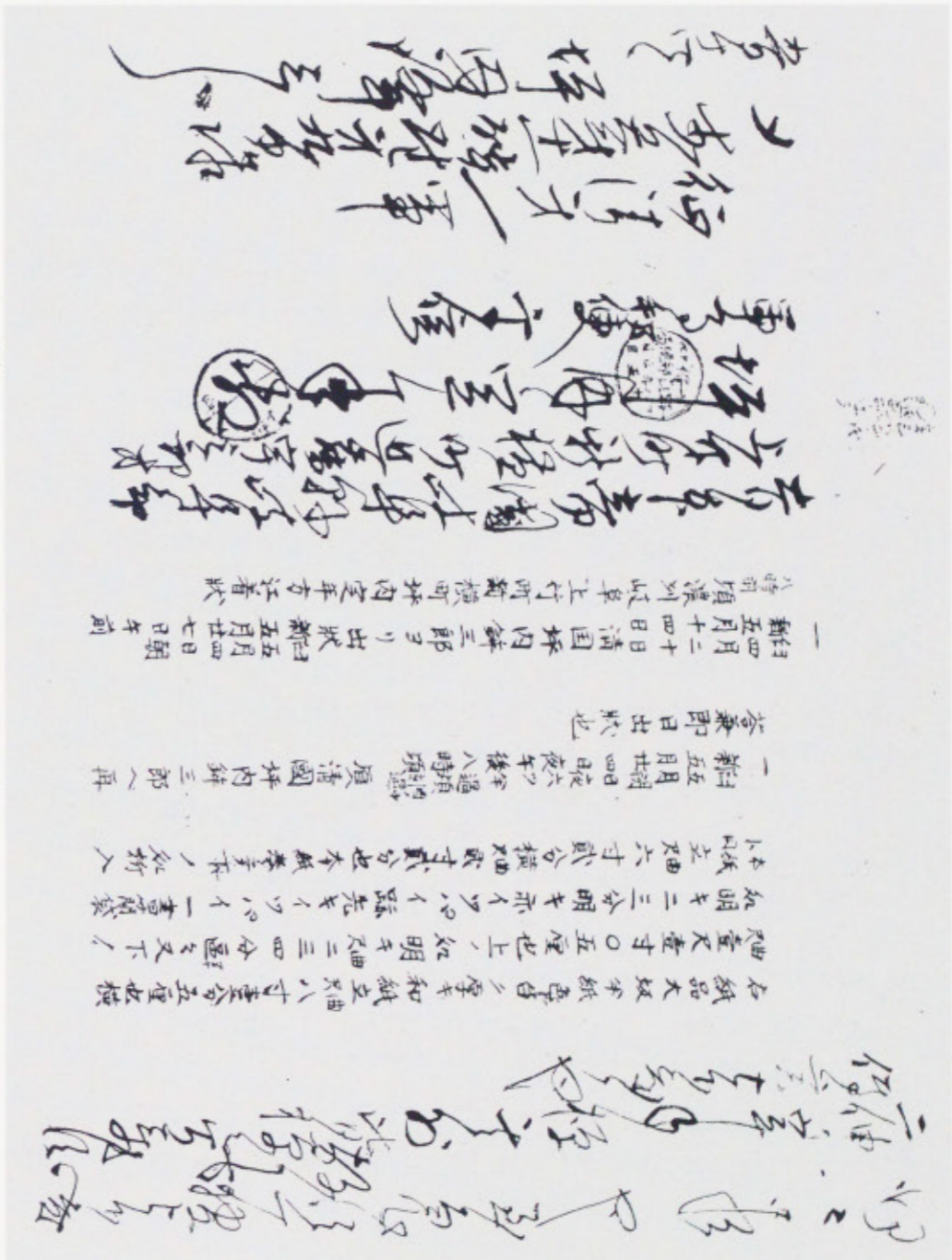
○批准書交換俄かに終了す (同上)
本日午前上海發の電報に曰ク
平和條約批准書は昨日俄かに交換相済みたり

○交換済の公報来る
九日午後一時四十六分東京發至電
俄かに模様替となり昨夜和約批准書交換済みたりと只
今公報ありたり (同上昨日第二號外)

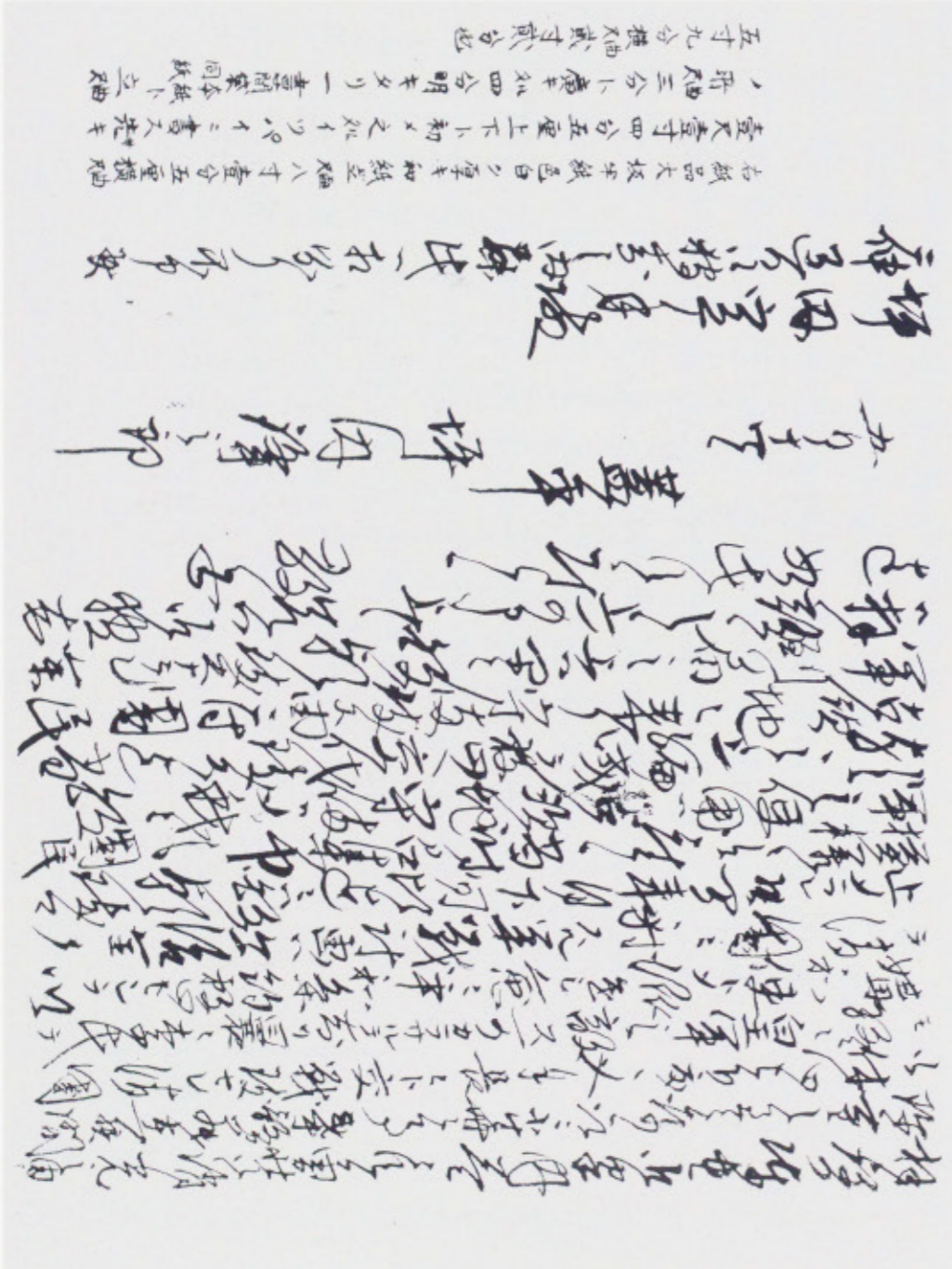
○批准交換済の別報 (九日午前四時十分京都發)
昨日芝罘にて兩國全權の會見あり清國よりは李經方外
三名我よりは伊東大臣外二名列席し或の如く兩國主權
者の批准せり式全く終りたるは同十二時ありしとの確

報本日本本夢に達したり
一 岷阜日々新聞號外 明治二十八年五月十二日
認物出づ (今日午後一時十分東京發電)

この件に就き本月十三日迄以て左の契約を發せられたり
其の條約を命に依リ金權辦理大臣に依リ命を待テ居ル
然るに露國皇帝以佛共和國の政府は日本帝國が邊



宋王タタノ書



日 新 日
五月 八日
火曜

工部局存貯上之書子如所録亦皆
様編録之中有之無之生智等
ハ定臨時之我々等は神ノ生智
信不有神ノ印候也ト信軍事格
被仕木上中定陣候ハ文生之格
俊也ト時ノ生智ヲ以テ津邊
ノ乘取ナリト神ノ生智ヲ以テ
確證ナリト生智ノ生智ニ
辛卯二十九 情不詳家也

大可成而到岐早縣 白字見那
上加綱村大字北極表江
平 内高内啓
軍郵便 平 信
在清表兵隊十人隊
減房十一中隊 録三郎
五卯二十九

一 新 日
五月 六日
五月 十九日
六月 七日
新 日
五月 十九日
六月 七日
新 日
五月 十九日
六月 七日

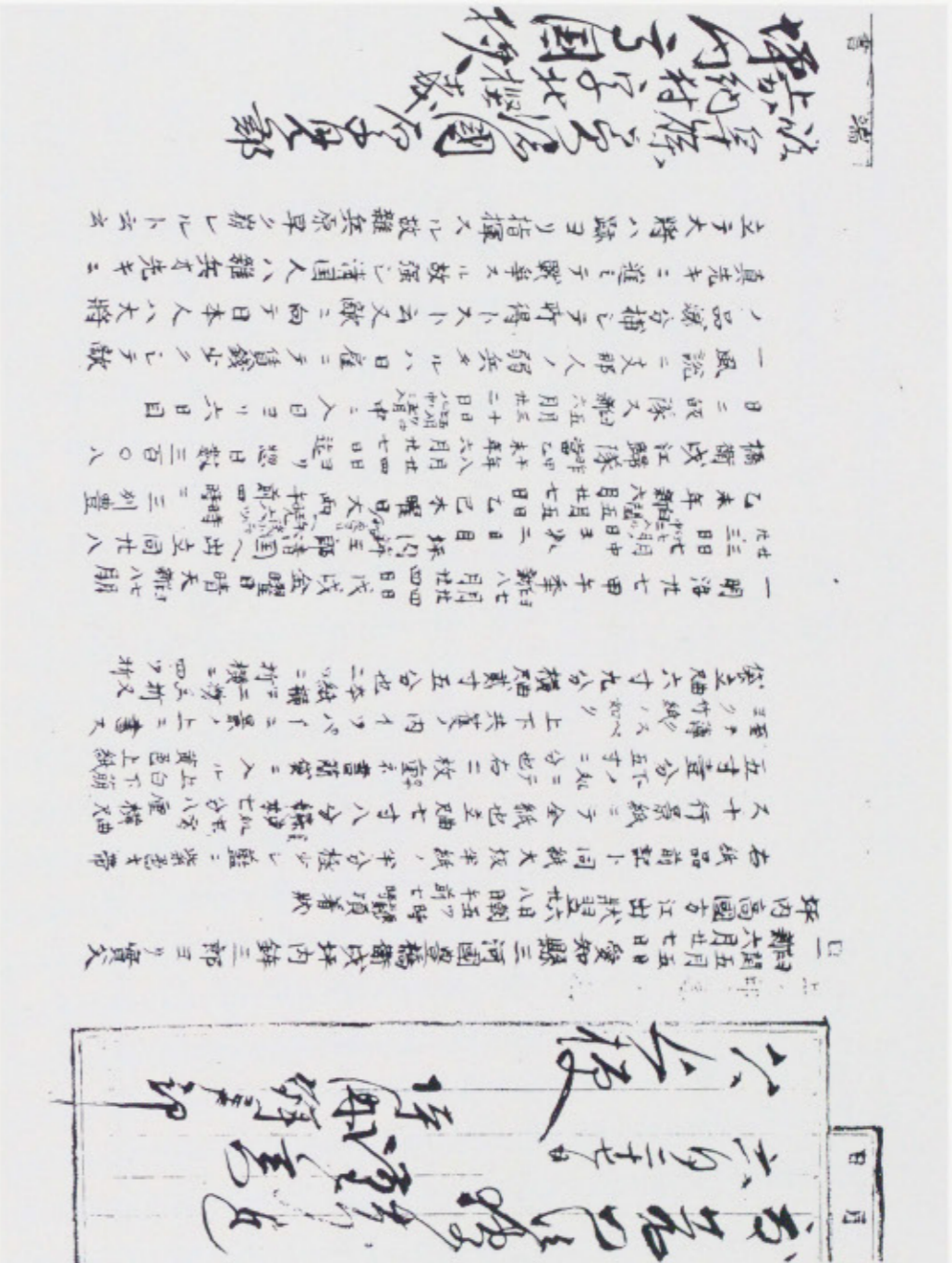


(上 大 多 之 書)

一 明治廿七年 壬申九月
清國旅順口占領、時
駝二足分、神ノ風開、是ハ軍中
ハ小名アブラ、不食ニテ官
ハ新 日
三月 十八日
四月 十八日
五月 十八日
六月 十八日
七月 十八日
八月 十八日
九月 十八日
十月 十八日
十一月 十八日
十二月 十八日

石紙品大坂半紙當時之紙ニテ色白ク叶候ニ似タリ五
八寸壹分八厘幅九寸壹分幅ノ紙ニテ紙質ニ似タリ
分トイッパイニ誤メ一書簡袋紙トシテ五寸六分
定銀四圓寸〇五圓

神字少経ノ字當存ノ字其ノ字
澄江部檢ノ字少至而數ナリ其ノ字
手方慶ノ字少至而數ナリ其ノ字



(複製) (複製)

編集後記

当歴史民俗資料館では、これまで逐次刊行物として、市内に伝存する、歴史資料の復刻や、あるいは民俗資料の資料目録を作成してまいりました。

報告書の十六号に引き続き今回の十七号は、市の文化財に指定されている坪内高國編集の系図を影印復刻いたしました。この文献は貴重なもので、火災等による文化的損失の愁いを消すためや、また、貴重さ故に一般に閲覧が禁止されていた史料の公開を目的として復刻することにいたしました。

当巻には高國の養子先である平島坪内家の系図を収録いたしました。分量の都合により残りの部分は第三、四巻で収録する予定しております。

このように影印復刻の形態をとりましたのは、楷書体のためわざわざ活字化しなくても判読可能なことと、活字化の作業過程で多人数の手を経ることから生じる誤植の危険性を極力避けたいと考えたからでございます。

報告書の史料解説は岐阜県歴史資料館の高橋直子氏に担当していただきました。また、口絵写真一と二の撮影は藤田一郎氏に担当していただきました。

影印復刻を快諾いただきました少林寺ご住職の久司宗浩師をはじめ、この報告書の刊行にご協力ご尽力いただきました方々に感謝申し上げます。

この報告書も、既刊の報告書同様多くの方々に利用していただき、地域の歴史や、よき文化的伝統の再発見につなげていただけたら幸いです。

平成六年二月

各務原市歴史民俗資料館

館長 藤井弘道

各務原市資料調査報告書第十七号

富樫庶流旗本坪内家一統系図並由緒(二)

平成六年二月十日

編集発刊 © 各務原市歴史民俗資料館

岐阜県各務原市鶴沼三ツ池町六丁目三三一九

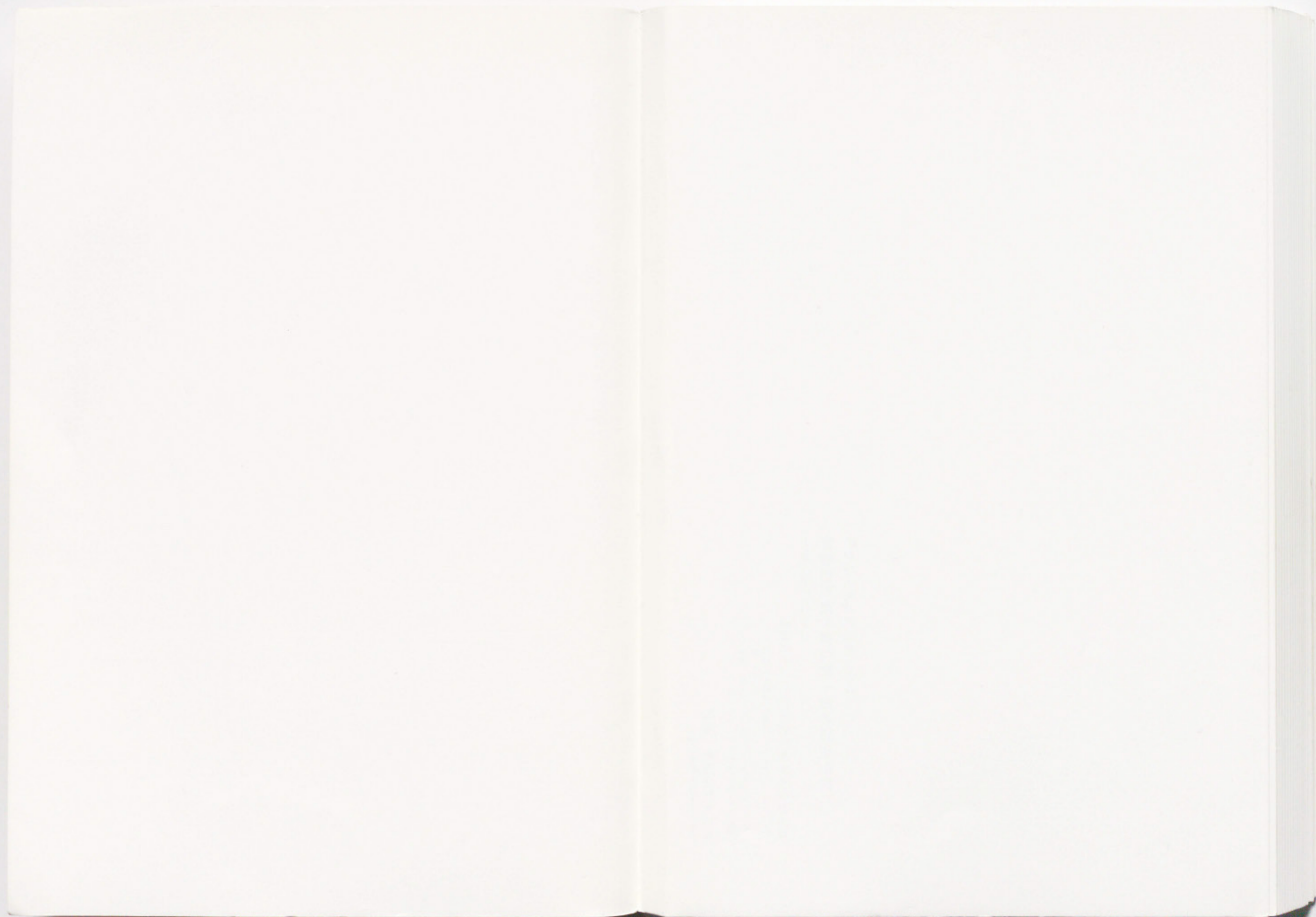
☎(〇五八三)七〇一八三六

振替 名古屋五七三一 各務原市

〇〇八五〇〇七三二(平成六年五月以降)

印刷 株式会社大洋社

岐阜県本巢郡北方町北方



各務原市図書館



112024682